



RULES FOR THE FIS ALPINE POINTS

EDITION 2021/2022

(日本語：2021年12月1日版)

※英語版との相違がある場合は、英語版を優先する。

INTERNATIONAL SKI FEDERATION

Blochstrasse 2; CH- 3653 Oberhofen / Thunersee; Switzerland

Phone: +41 (33) 244 61 61

Fax: +41 (33) 244 61 71

Email: alpine@fisski.com

Alpine FIS Points and race results administration

Janez Flere: +41 (33) 244 61 62

E-Mail: flere@fisski.com

目次

1	競技会	
1.1	必要条件	10
1.2	スケジュールの変更とキャンセル	10
1.2.1	カテゴリーの変更	10
1.3	U21 競技会	10
1.4	ナショナルチャンピオンシップ (国内競技者権大会)	10
2	競技者	
2.1	登録	10
2.1.1	コード番号	11
2.2	登録料	11
2.2.1	登録 11	
2.2.2	1シーズンの競技者登録料	11
2.2.3	ポイント確認	11
2.2.4	払い戻しなし	11
3	評価期間	
3.1	北半球	11
3.2	南半球	11
4	計算方法	
4.1	レースポイント	11
4.2	FIS ポイント	12
4.2.1	ベース FIS ポイントリスト (BL) (*)	12
4.2.2	ノーマル FIS ポイントリスト (NL)	12
4.2.3	アンチドーピングルール違反	12
4.2.4	有効期間	12
4.2.5	活動していない競技者	12
4.4	ペナルティ計算	12
4.4.1	ペナルティ計算	12
4.4.2	レースをスタートした上位 5 競技者	12
4.4.3	選ばれた上位 5 競技者	13
4.4.4	競技者が 5 人未満の場合：マックス値	13
4.4.5	10 位に競技者が 2 人以上いる場合	13
4.4.6	FIS ポイント 5 位に競技者が 2 人以上いる場合	13
4.4.7	計算	13
4.4.8	ペナルティの切り上げ、切り下げ	13
4.4.9	アルペンコンバインド	13
4.4.10	予選の FIS ポイント	14
4.5	カテゴリーアダーとミニマム/マキシマム値	14
4.6	インジャリーステータス	14

4.6.1	届け出	14
4.6.1.1	条件	14
4.6.2	妊娠	14
4.7	職業義務及び兵役.....	14
4.8	1つの大会で複数のレースが行なわれる場合	14
4.8.1	ダウンヒル (DH)、回転 (SL)、大回転 (GS)、スーパーG (SG)、アルペンコンバインド (AC).....	14
5	FIS ポイントリスト	
5.1	FIS ポイントリストは電子的に入手可能である。	15
5.2	記号	15
5.3	個別リストの発行期日及び有効期限.....	15
6	主催者と技術代表 (TD) への指示	
6.1	電子データ転送	15
6.1.1	レースリザルトのファイル名の構成について:.....	15
6.2	評価、非評価への忠告	15
7	出場枠	
7.1	出場枠の計算.....	16
7.1.1	FIS ポイントリスト No1	16
7.1.3	FIS ポイントリストの上位 150 位にはいないが 151~300 位にランクされている場合	16
7.1.4	有効期間	16
7.1.5	リザルトなしの競技者	16
7.1.6	開催国のスキー連盟の基本出場枠	16
7.1.6.1	例外	16
7.1.7	国別グループ.....	16
7.2	女子の出場枠ルール	17
7.3	開催国のダブルクォータ	17
7.4	南半球のレースでのダブルクォータ.....	17
7.5	各国選手権(NC と NJC)への海外競技者の出場	17
7.5.1	条件	17
7.5.2	公式ルート	17
7.6	FIS 競技会への参加	17
7.6.1	各国スキー連盟の出場枠は、以下のとおりである。	17
7.6.1.1	オリンピック冬季競技大会、世界選手権大会	17
7.6.1.2	ワールドカップ、コンチネンタルカップ	17
7.6.2	すべてのアルペン競技会での競技者の数は 140 人を超えてはならない。	17
7.6.3	特別出場枠	17
7.6.4	ナショナルジュニアレース (NJR)	18
7.7	出場枠の超過.....	18

RULES OF THE FIS POINTS

これらのルールは第 618 条に不可欠の部分である。

1 競技会

1.1 必要条件

以下の条件に合うレースのみ FIS ポイントの対象となる。

- FIS カレンダーに記載されている競技会
- 国際競技規則 (ICR) を厳守していること
- 第 3 条に記載する期間内に開催される競技会

1.2 スケジュールの変更とキャンセル

スケジュールの変更、すなわちレース日時・レース会場の変更、レースのキャンセル、プログラム上の重要な変更は、直ちに以下に報告すること。

- FIS 本部
- CH-3653 Oberhofen/Thunersee
- Tel +41 (33) 244 61 61, E-mail: alpine@fisski.com
- その競技会に任命された技術代表 (TD)

変更通知は、最初のチームキャプテンミーティングの最低 4 日前までに FIS へ連絡されなければならない。

1.2.1 カテゴリーの変更

各国スキー連盟は登録された競技会を別のカテゴリーに変更を希望する場合（または新たな大会のカレンダーへの追加）は、最初のチームキャプテンミーティングの 10 日前までに FIS に通知しなければならない。

1.3 U21 競技会

FIS カレンダーに記載された U21 (NJR、JUN) 及び NJC (U18) の競技会では、シニアの参加は認められない。

例外：ナショナルジュニアチャンピオンシップ (NJC)

1.4 ナショナルチャンピオンシップ (国内競技者権大会)

各国スキー連盟の国内競技者権大会として NC と NJC の適切なカテゴリーアダーを使用した各種目男女 1 レースのみが認められる。2021/22 シーズンは例外として 2020/21 シーズンのキャンセルとなった NC および NJC を開催することができる。

- キャンセルされた元々の NC および NCJ は 2021 年 12 月 31 日までに開催されることとする。2022 年のカレンダーとして開催されることは不可能である。
- すべての各国スキー連盟は、U18 競技者のみがスタートできる、各種目男女別に 1 つの U18 競技会を開催することが認められる。

2 競技者

2.1 登録

競技者は、FIS ウェブサイトのメンバーセクションにある FOU システムを使い登録される。ステータスを「アクティブ」から「インアクティブ」に変更した場合、その後の FIS ポイントリストには

含まれない。ステータスが「アクティブ」の競技者は、来るシーズンの登録者とみなす。インジャリーステータスの競技者は、インジャリープロテクションを維持するために、「アクティブ」のままにしなければならない。

暦年の終日までに 16 歳に達した者のうち、ICR203.3 条に従い競技者宣誓書に署名した者のみ、所属する各国スキー連盟により登録が可能な対象者となる (ICR607 条を参照)。各国スキー連盟は、競技者が適切な保険に加入し、FIS の競技者宣誓書に署名をしたことに責任を持つ。

アクティブ (FIS ポイントリストに載る)。競技者が FIS 大会に参加をしない場合でも、ステータスはアクティブのままになる。アクティブからインアクティブへのステータスの変更は、6 月 1 日～12 月 31 日の間のみ行うことができる。

ステータスを「アクティブ」から「インアクティブ」に変更後、競技者は 4 シーズンに渡りポイントを確認できる。ポイントの確認は、4 シーズン以降は不可能となる。

2.1.1 コード番号

有効な FIS コードを持った競技者 (女子と男子) のみレースへの参加を許可される。

2.2 登録料

2.2.1 登録

登録された競技者について登録料金が課せられる。この額は、各国スキー連盟の FIS 口座から引き落とされる。

2.2.2 1 シーズンの競技者登録料

競技者登録システムまたは FIS オフィスを経由しての申請：CHF33.00 (U18 CHF20.00)

FIS ポイントリスト No.6 に登録されている全ての競技者、あるいはスタートした競技者は請求の対象となる。

2.2.3 ポイント確認

ポイント確認料：CHF200.00

2.2.4 払い戻しなし

競技者がシーズン中に引退した場合や、各国スキー連盟による登録間違いがあった場合、払い戻しはしない。

3 評価期間

3.1 北半球

評価期間は 11 月第 2 週末に始まり、4 月 30 日に終了する。

例外：ワールドカップ、ヨーロッパカップ

エントリーリーグ (ENL) レベルの評価期間は 10 月第 2 週末に始まる。

3.2 南半球

南半球についての評価期間は 7 月 1 日に始まり、10 月 15 日に終了する。

4 計算方法

4.1 レースポイント

レースポイントはアルペン公式に基づき計算される。

4.2 FIS ポイント

4.2.1 ベース FIS ポイントリスト (BL) (*)

ベース FIS ポイントリスト (BL) は 6 月中旬に発行される。

4.2.1.1 昨シーズン中各種目で獲得した 2 つのベストリザルトの平均を BL リストの計算に使用する。

4.2.1.2 昨シーズン中にアルペン種目 (ダウンヒル、回転、大回転、スーパー G 及びアルペンコンバインド) で 1 つのリザルトしか得られなかった競技者にはリザルトの 20% (+) がそのリザルトに足される。

4.2.1.3 昨シーズン中、アルペン種目のリザルトがない競技者には、前回の BL ポイントに 50% (>) が足される。これらの距食い者は引き続きアクティブとして FIS に登録しなければならない。

4.2.1.3.1 インジュリーステータスがなく、そのシーズン競技成績が全くない競技者で、50%を加算した後の BL で上位 30 位に入っているものは、自動的に 31 位となり、31 位と同等の FIS ポイントを獲得する。

4.2.1.3.2 シーズン続けて競技成績がなく、BL で 999.99 を持つ者は FIS リストから外される。

4.2.1.4 インジャリーステータスが承認されていて、有効シーズン中に競技者が 1 種目 5 回 (FIS と COC レベルの競技)、それに加えて 4 回 (ワールドカップ) か、全種目 15 回 (FIS と COC レベルの競技) それに加えて 8 回 (ワールドカップ) 以上スタートしていない場合は、新のポイントがプロテクトされたポイントより良くない場合、10% (#) が BL に足される。

4.2.2 ノーマル FIS ポイントリスト (NL)

No.1 は 7 月 1 日に BL を基にして発行される。

4.2.2.1 NL はその期間における各競技の 2 つの良い成績の平均が、BL よりも良かった場合、反映される。

4.2.2.2 BL がなく、成績が一つしかない場合
競技成績に 20% が加算される。

4.2.3 アンチドーピングルール違反

競技者がアンチドーピングルールを違反した場合、その競技者が今まで獲得したポイントは、FIS アンチドーピングルール 10.1.2 条に基づき、抹消される。

4.2.4 有効期間

リザルトの有効期間は、進行中のシーズンとする。

4.2.5 活動していない競技者

ある種目でリザルトのない状態が 1 年経過した場合、その FIS ポイントには FIS ポイントリスト上で特別の印が付けられる (5.2 条)。

4.4 ペナルティ計算

4.4.1 ペナルティ計算

ペナルティの計算は、該当する有効リストに基づいて行われる。

4.4.2 レースをスタートした上位 5 競技者

スタートをした FIS ポイント上位 5 名の競技者を選ぶ (完走者、失格者、DNF、2 本目をスタートしてない者)。「DNS1」または「NPS1」の競技者は対象としない。ポイントがマックス値を超えている場合、マックス値を使用する。(4.4.4 条参照)

4.4.3 選ばれた上位 5 競技者

当該レースの上位 10 位から FIS ポイント上位 5 名の競技者を選ぶ。

ポイントがマックス値を超えている場合、あるいはポイントがない場合、マックス値がペナルティ計算に使われる。

4.4.4 競技者が 5 人未満の場合：マックス値

リザルトリストの上位 10 位の競技者で FIS ポイントを有する競技者が 5 人未満の場合、スタートした競技者のうち、FIS ポイントを所持する者が 5 人未満の場合、FIS ポイントのない競技者つまり残りの競技者がマックス値を与えられる。：

ダウンヒル： 330 ポイント

スーパー-G： 270 ポイント

回転： 165 ポイント

大回転： 220 ポイント

アルペンコンバインド： 270 ポイント

上位 5 名のうち FIS ポイント保持者が 3 人に満たない場合、または少なくとも 3 人の競技者が完走しない場合には各競技のマックス値の 2 倍がミニマムペナルティとなる。

BL では、FIS ポイントを持たない競技者、またはペナルティ計算に用いられるダブル値よりも高い FIS ポイントを持つ競技者の結果のみが有効となる。

4.4.5 10 位に競技者が 2 人以上いる場合

レースで複数の競技者が 10 位にランクした場合、彼らが FIS ポイント上位 5 名に入っている場合に限り、全員がペナルティ計算の対象となる。

4.4.6 FIS ポイント 5 位に競技者が 2 人以上いる場合

複数の競技者が FIS ポイント 5 位にランクした場合、ペナルティ計算に考慮されるべきであり、レースポイントの高い競技者がペナルティ計算の対象となる。(理由：よりよいペナルティのため)

4.4.7 計算

- 最初に、選ばれた上位 10 人のうちの FIS ポイント上位 5 つまたはマックス値 (=合計 A) と、スタート時の FIS ポイント上位 5 人の FIS ポイント (=合計 B) を足す。次に (選ばれた上位 10 人のうち) FIS ポイント上位 5 人の競技者のレースポイントを足す (=合計 C)。この値が各種目のマックス値 (DH330、SL165、GS220、SG270、AC270) を越える場合、レースポイントのマックス値で計算する。
- レースポイントの合計 (合計 C) を、選ばれた上位 10 人のうちの FIS ポイント上位 5 つ (合計 A) とスタート時の FIS ポイント上位競技者 5 名 (合計 B) の合計から引く。それを 10 で割る。
((合計 A + 合計 B - 合計 C) ÷ 10)

4.4.8 ペナルティの切り上げ、切り下げ

ポイントの小数第三位を四捨五入する。(例 13.654 = 13.65 あるいは 21.849 = 21.85) .

4.4.9 アルペンコンバインド

すべての FIS アルペンコンバインド種目ではスピード種目 (DH または SG) の FIS ポイントが与えられる。ただしワールドカップ、ヨーロッパカップ、ノルアムカップ、オリンピック、世界選手権では競技者が両方を完走した場合のみ。FIS ポイントペナルティは、テクニカルデータを考慮に入れて適用される。

4.4.10 予選の FIS ポイント

FIS ポイントは、KO とパラレルの予選に対して計算される。パラレル本戦に出場しなかった競技者には FIS ポイントは与えられない。

予選として認められた FIS ポイントは、通常のスラロームの 1 本目としては認められない。

各 NSA は次の鹿角パラレルを開催することができる。

NC および NJC の男女各 1 レース

FIS カテゴリーでは男女各 2 レース以上は認められない。

ENL カテゴリーでは制限なし。

4.5 カテゴリーアダーとミニマム/マキシマム値

カテゴリーアダーとミニマム/マキシマム値は、各 FIS ポイントリスト (1 ページ) で公表される。

4.6 インジャリーステータス

4.6.1 届け出

競技者が負傷し、シングルペナルティを申請する場合、各国スキー連盟は FIS に公式フォームと診断書をできるだけ早くまたは遅くとも 4 月 30 日まで提出し、シングルペナルティの承認を得なければならない。診断書には、怪我の種類と回復期間を詳細に報告する必要がある。回復公式のフォームと医師の診断書は、1 シーズンのみ有効である。(WC: ワールドカップルール 21.2 条を参照)

4.6.1.1 条件

- 負傷日から最初のスタートまでは少なくとも 8 ヶ月をあけること。
- インジャリーステータスを維持するために、競技者は、アクティブ (ステータス) で競技者登録されていること。
- 有効シーズン中に競技者が 1 種目 5 回 (FIS と COC レベルの競技) に加えて 4 回 (ワールドカップ、オリンピック、世界選手権) か、全種目 15 回 (FIS と COC レベルの競技) かそれに加えて 8 回 (ワールドカップ、オリンピック、世界選手権) 以上スタートしていないこと。

4.6.2 妊娠

プロテクトステータスは診断書が受け取られ FIS が承認した時 (または後のスタート) から子供の誕生までの間に開始される。出産予定日は診断書に記載される必要がある。子供の誕生後もプロテクトステータスは最大 9 か月間有効である。各国スキー連盟が正確な医学的理由を述べた FIS ポイントプロテクトステータスの延長を FIS に書面で申請しない場合は失効する。申請方法は第 4.6.1 条に準じる。

4.7 職業義務及び兵役

競技者が職業的義務 (学業) 及び兵役のため競技することができないことを証明する「学業または兵役」の届け出を各国スキー連盟が事前に提出し、理由と期間を明確にした場合、条項 4.6 に従い処理される。

4.8 1 つの大会で複数のレースが行なわれる場合

- ##### 4.8.1 ダウンヒル (DH)、回転 (SL)、大回転 (GS)、スーパー-G (SG)、アルペンコンバインド (AC)
- 大会の一部として、各種目及び各カテゴリー (WC, COC, FIS) につき 2 レースのみ FIS カレンダーで公表でき、同じ公認コース上で 5 日以内であることに留意しなければならない。AC の一部として 3 番目の DH または SG の場合、そのスピード種目の FIS ポイントは与えられない。

さらに、各種目及び各カテゴリーにつき2レースある大会に加えての代替競技の運営は許可されない。そのような追加競技には、FIS ポイントは与えられない。

5 FIS ポイントリスト

5.1 FIS ポイントリストは電子的に入手可能である。

ALFPxxx.zip はファイルであり、FIS ポイントリストプログラムで有効である。（“xxx”は常にリスト番号とシーズン番号である。例として2019/2020のNo.1のALFP120F.zipは、完全リストの意味。ALFP120Pは、前回からのアップデートされた情報のみの意味。）

FIS ポイントはエクセル形式と CSV 形式ファイルで FIS ウェブサイト (<https://www.fis-ski.com/DB/alpine-skiing/fis-points-lists.html>) でダウンロードが可能である。

5.2 記号

- * ベースリスト
- # 4.2.1.4 条によるインジャリーステータスプロテクト
- + 昨シーズン該当種目で1つしかリザルトを残していない競技者（第 4.2.1.2 条）または1つのリザルトしか残しておらず、当該シーズンの BL がない（第 4.2.2.2 条）（20%）
- > 昨シーズン該当種目でリザルトを獲得していない競技者 4.2.1.3 条（50%）
- C ポイントコンフォメーション
- インジャードであるが計算ポイント採用

5.3 個別リストの発行期日及び有効期限

印刷期日及び有効日は、FIS ウェブサイトで公開される。FIS ポイントリストは北半球のシーズン期間中は2週間ごとに発行される。

6 主催者と技術代表 (TD) への指示

6.1 電子データ転送

リザルトは FIS フォーマット (E-Mail:alpineresults@fisski.ch) にて電子的に伝送しなければならない。TD はリザルトの正確な伝送を監督し、該当するレポートを作成しなければならない。また、ウェブでの正確なりザルトの掲載を確認しなくてはならない。TD レポート及びタイミングレポートがないリザルトは FIS ポイントリストに反映されない。

6.1.1 レースリザルトのファイル名の構成について:

- OC の国名 (FIS ICR で表記されている 3 文字)
 - Codex (FIS カレンダーを参照)
- ポイントの後: xml

6.2 評価、非評価への忠告

FIS ポイント評価対象から競技会を排除するには正当な理由があるべきである。理由は「TD 報告書」に明記しなければならない。

多数の競技者がレースをフィニッシュした後にレースを中止しなければならない場合、TD はレースの評価・非評価を明記したレポートを提出しなければならない。

7 出場枠

7.1 出場枠の計算

7.1.1 FIS ポイントリスト No1

各国スキー連盟の FIS レースの出場枠は、5 種目 (DH、SL、GS、SG、AC) のうちの 1 種目の当該シーズン FIS ポイントリスト No1 に載っている競技者の FIS ポイントを使い計算される。各国スキー連盟にとって、最も有利な種目が考慮される。

7.1.2 FIS ポイントリストの上位 150 位以内 (第 4.2.5 条に従う)

1-6 名	6 枠
7 名	7 枠
8 名	8 枠
9 名	9 枠
10 名	10 枠

7.1.3 FIS ポイントリストの上位 150 位にはいないが 151~300 位にランクされている場合

0-1 名	4 枠
2 名以上	5 枠

7.1.4 有効期間

これらの出場枠は FIS ポイントリストの評価期間中、有効である。

7.1.5 リザルトなしの競技者

前のシーズンにおいて 1 つもリザルト (それぞれの各種目において) が無い競技者 (FIS ポイントリストで ">") はそれぞれの各種目の出場枠計算には含まれない。FIS ポイントに従ってスタートする権利は有する。このルールはアクティブインジャードの競技者 (FIS ポイントリストに "#" の記号) には適用されない。

7.1.6 開催国のスキー連盟の基本出場枠

開催国のスキー連盟の基本出場枠は 50 で、最大 140 まで補充することができる。国別出場枠と開催国枠を順守した結果、140 を超えた場合、すべてエントリーが認められる。140 に達しなかった場合、開催国スキー連盟は、残りの枠を自国の競技者で埋めることができる。

7.1.6.1 例外

下記に述べる開催国のスキー連盟の出場枠は、SL と GS は 70、DH、SG、AC は 90 とする。
AUT、CAN、FRA、GER、ITA、NOR、SLO、SWE、SUI、USA、RUS

7.1.7 国別グループ

- CAN-USA / DEN-FIN-ISL-NOR-SWE / ARG-BOL-BRA-CHI / AUS-FIJ-NZL / CHN-JPN-KGZ-KOR-MGL-IND-PAK / LBN-ROU-RSA-CYP-LUX-POR-AND-SRB-MON-SMR-IRL : これらの国別グループの国で開催されるレースに対しては、各国につき最高 30
- FRA-ESP-AND : ドローボードに 140 名以下の場合、40 枠まで増加できる。
- CZE-POL-SVK : その国のグループの国で開催されたレースで、140 名まで埋まらなかった場合、各国 50 枠。
- ARM-BIH-BUL-CRO-CZE-GRE-HUN-KAZ-KGZ-MNE-SRB-MKD-POL-RUS-SLO-SVK-TUR-IRI-UZB-UKR : これらの隣接国で開催される大会について出場枠は 30 とする。
- BIH-BUL-SLO-SRB : これらの国別グループの国で開催されるレースで、ドローボード上で最大の 140 名に満たないときはダブルクォータ。

- BEL-DEN-LUX-NED-ISL-IRL / BIH-BUL-CYP-GRE-MNE-MKD-SRB：これらの国別グループの国で開催されるレースに対しては、各国につき最高 30
- LIE での大会では、隣接する国である SUI と AUT の出場枠は 15 とする。
- 開催国は 7.1.6 条に従い出場枠を常に受ける。

7.2 女子の出場枠ルール

女子の出場枠ルールは 140 人以上の競技者がエントリーした場合に適用される。

7.3 開催国のダブルクォータ

関係両国が合意に至っている限り、レース開催国はダブルクォータを適用してもよい。これを超える出場枠については秋季ミーティングの 2 週間前までに提案しなければならない。(南半球では春季ミーティングの 2 週間前まで)

7.4 南半球のレースでのダブルクォータ

南半球でダブルクォータは有効である。ただしエントリーが多い場合、主催者は通常 FIS 出場枠までに出場枠を減らす権利を持つ。南半球の国が北半球でのレースにダブルクォータを望む場合、同じ権利が南半球の国々に適用される。各国スキー連盟は開催国と連携して協議を行わなければならない。合意に至った大会でしか有効ではない。合意文書のコピーを TD に示し、FIS に提出すること。

7.5 各国選手権(NC と NJC)への海外競技者の出場

7.5.1 条件

FIS レースの全条件が守られ、有効な FIS 出場枠どおりに外国の各国スキー連盟の申込みが受け付けられた場合、国内競技者権大会は「国際競技会」として考えられ、FIS ポイント対象となる。

主催するスキー連盟は、25 人まで外国人を受けざるを得ない。ただし、各国の出場枠を適用することで 25 人以上の外国人参加が可能である。

7.5.2 公式ルート

他国の国内競技者権大会に競技者を出場させたいと希望する各国スキー連盟は、競技/トレーニングの始まる少なくとも 1 週間前までに関係連盟に直接申請するべきである。問題を解決するため FIS が介入することもある。

7.6 FIS 競技会への参加

7.6.1 各国スキー連盟の出場枠は、以下のとおりである。

7.6.1.1 オリンピック冬季競技大会、世界選手権大会

国際オリンピック委員会の規則と世界選手権大会及び世界ジュニア競技者権大会開催規則に基づく。

7.6.1.2 ワールドカップ、コンチネンタルカップ

各種カップに対する出場枠はそれぞれの特別ルールに従い決定する。

7.6.2 すべてのアルペン競技会での競技者の数は 140 人を超えてはならない。

もし国別出場枠と開催国枠を順守した結果において 140 人を超えたとしてもこれは認められる。140 人に達しなかった場合、開催国スキー連盟は、残りの枠を自国の競技者で埋めることができる。

7.6.3 特別出場枠

FIS 理事会は、国と地域に対し特別出場枠を認めることができる。各国スキー連盟は、FIS 秋季ミーティングの最低 2 週間前までに、南半球のレースの場合、春季ミーティングの 2 週間前までにその要望を FIS に直接送る。。

7.6.4 ナショナルジュニアレース(NJR)

各国スキー連盟には、すべての NJR 競技会において、その FIS 出場枠(第 7.1.7 条の国別グループを含む)を基に次の算出方式に沿った固定されたクォータを有する。

FIS クォータ	NJR クォータ
10-9	5
8-7	4
6-5	3
4 まで	2

開催国は、最高 115 名の競技者をスタートさせることができる。海外からのエントリーが 25 名未満の場合、または、開催国が 115 名枠を使用しない場合、最大競技者数 140 名を考慮に入れ、通常の出場枠を適用することができる。女子競技の場合、140 人以上の競技者がエントリーした時、この決定事項が適用される。

7.7 出場枠の超過

各加盟国スキー連盟は競技者をその連盟が持つ大出場枠で出走させるだけの権利を有する。女性の競技は、第 7.2 条を適用する。

7.7.1 出場枠は、チームキャプテンミーティングにおいて確認され、ドロー前までに TD、レースセクレタリー、そして各チームキャプテンの代表らによっても確認される。

7.7.2 もし、競技者がエントリー、または、実際に出走した結果としてその国の出場枠を超えた場合、その競技者は終公式記録の計算、または、ペナルティ計算には考慮しない。もし、この違反が公式記録掲示前に発覚した場合、その競技者は『DQO (Over Quota)』と公式記録に記される。このような規則違反が公式記録の掲示後に発覚した場合、公式記録は『FIS 本部』にて、公式記録上に DQO (出場枠超過: Over Quota) として掲示された競技者全員を除外して再計算される。最終リザルトにおいてピブ番号の大きな競技者から失格となる。この手続きには、FIS 本部にて対処し、直近のクラシフィケーション小委員会にて承認される。